

# ひだまり+

The new psychiatric ward of Aki General Hospital was opened to the public in August 2012.  
Please take a look at it.

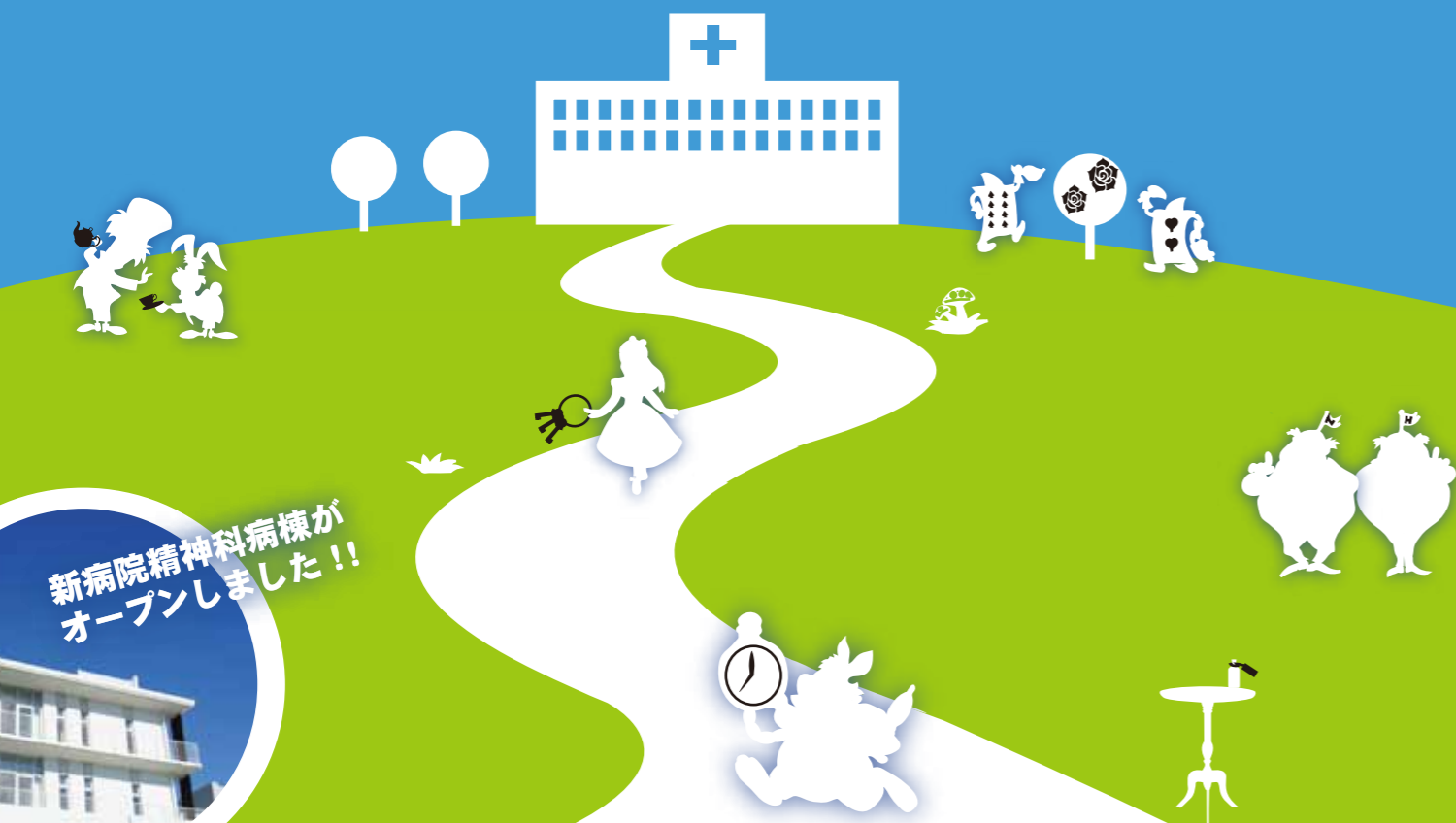
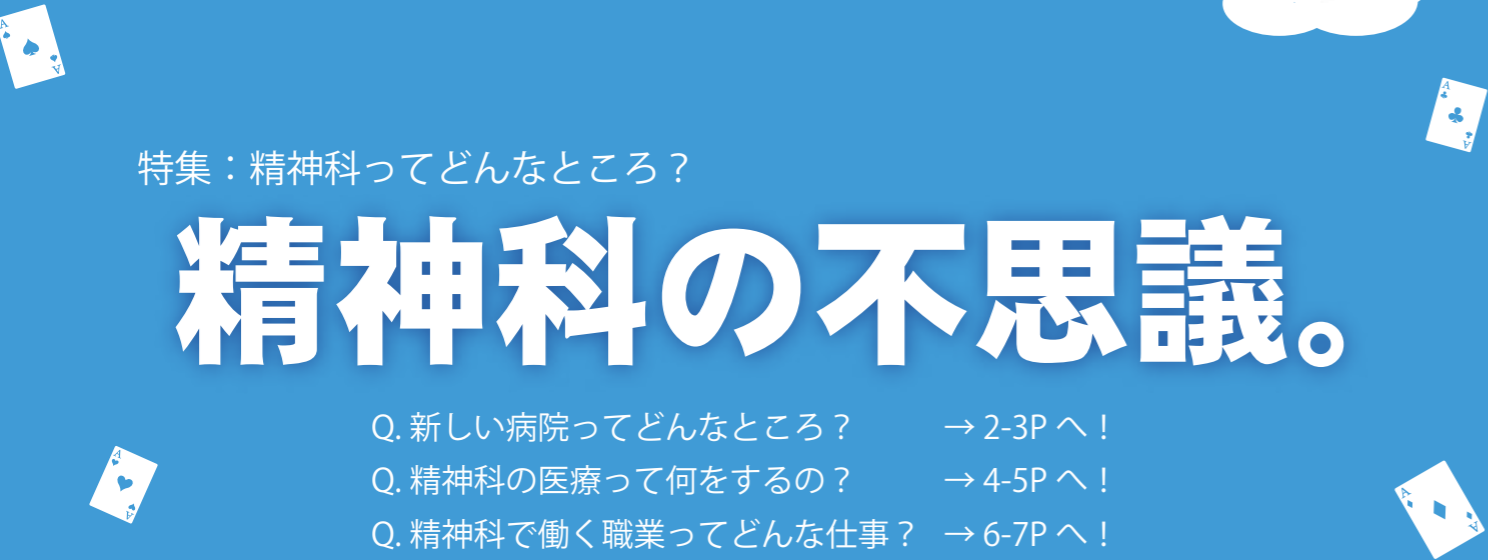
特集：精神科ってどんなところ？

## 精神科の不思議。

- Q. 新しい病院ってどんなところ？ → 2-3Pへ！  
 Q. 精神科の医療って何を？ → 4-5Pへ！  
 Q. 精神科で働く職業ってどんな仕事？ → 6-7Pへ！  
 ⇒ その他、いろいろな企画がいっぱい！



この広報誌は0円です。ご自由にお取りください。[TAKE FREE]



新病院精神科病棟がオープンしました！！

ひだまりplus Vol.2

発行元 高知県立あき総合病院  
〒784-0027 高知県安芸市宝永町1-32  
Tel 0887-34-3111(代表) Fax 0887-34-2687

発行責任者 前田博教  
発行人 前田博教  
平成24年9月

企画・構成 広報誌企画部会  
編集・制作 山本信平

### 外来診療一覧表

■ 予約が必要な診療科は水色(白抜き字)で表示していますのでご注意ください。  
 ■ 下記の診療一覧表は平成24年8月時点のもので、学会や緊急手術、異動などにより担当医師が変更となる場合がございますのでご了承ください。

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	川田光顯 的場俊	中村寿宏 的場俊	川田光顯 中村寿宏	川田光顯 的場俊	中村寿宏 松本竜季
	午後(予約)	中村寿宏(糖尿病)	—	—	—	—
消化器内科	午前	大崎純子 —	和田邦彦 高橋昌也	大崎純子 —	和田邦彦 —	大崎純子 和田邦彦(10:30~)
	午後(予約)	秋澤雅史 越智友梨	—	秋澤雅史 寺内靖順	秋澤雅史 林佳世	—
循環器内科	午後(予約)	—	河瀬成穂	窪田哲也	—	—
呼吸器内科	午後(予約)	—	—	—	—	—
血液内科	午後(予約)	—	—	—	—	研谷和人
精神科	午前 新患(予約制)	山内祥豪	—	土居江里奈	—	峯瀬正祥
	再診(予約制)	峯瀬正祥	山内祥豪	山内祥豪	峯瀬正祥	山内祥豪
神経内科	午前 再診(予約制)	—	山下元司 (第2・第4)	—	—	—
	午後	前田博教 直木一朗	直木一朗(予約) 山本盛雄	直木一朗 —	山本盛雄 —	直木一朗 前田博教
外科	午後	—	—	—	ストーマ外来	—
形成外科	午前	—	—	—	—	緒方英之
整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科	午前	今里滋宏 田所伸朗	今里滋宏 —	田所伸朗 市川徳和(予約) (第1・第3) 福田幸一(予約) (第3)	今里滋宏 —	田所伸朗 —
	午後	—	渡橋和政 (第4)	—	—	岡田浩晋 (第4)
胸部・心臓 血管外科	午後	—	—	—	—	—
脳神経外科	午前(予約)	—	筒井巧	—	—	—
眼科	午前	吉田和之	吉田和之	吉田和之	吉田和之	吉田和之
	午後(受付14:00~16:00)	吉田和之	—	吉田和之	吉田和之	吉田和之
産婦人科	午前	岡田真尚	岡田真尚(予約)	岡田真尚	岡田真尚(予約)	岡田真尚
	午後 (受付14:00~15:30)	岡田真尚 母乳外来	岡田真尚 1ヵ月健診(予約) 母乳外来	岡田真尚(予約) 母乳外来	— 母乳外来	岡田真尚 母乳外来
耳鼻咽喉科	午前	西山正司	西山正司	西山正司	西山正司	西山正司
	午後	禁煙外来(予約)	—	西山正司(予約)	—	西山正司(予約)
小児科	午前	前田賢人 矢野哲也	前田賢人 —	高知大学 応援医師 —	矢野哲也 —	前田賢人 矢野哲也
	午後 (受付14:00~16:00)	前田賢人 矢野哲也	乳児健診(予約)	高知大学 応援医師	予防接種(予約)	前田賢人 矢野哲也
皮膚科	午前	廣瀬康昭	廣瀬康昭	—	廣瀬康昭	廣瀬康昭
	午後 (受付13:00~16:00)	—	—	廣瀬康昭	—	—
泌尿器科	午前(11:00まで)	田村賢司	高知大学 応援医師	田村賢司	—	高知大学 応援医師
	午後(予約)	田村賢司	—	—	—	—

内科	消化器内科	循環器内科	眼科
川田光顯 中村寿宏 的場俊 松本竜季	大崎純子 和田邦彦	秋澤雅史	吉田和之
外科	整形外科	小児科	皮膚科
前田博教 産婦人科	直木一朗 耳鼻咽喉科	前田賢人 矢野哲也	廣瀬康昭
山本盛雄 泌尿器科	今里滋宏 放射線科	田所伸朗	—
岡田真尚	西山正司	田村賢司	寺島正子

高知県立あき総合病院  
Aki General Hospital

県立あき総合病院 検索

お問い合わせ ☎ 0887-34-3111(代表)

午前受付 8:30 ~ 11:30  
 予約変更 14:00 ~ 16:00  
 地域連携室 0887-35-8107 (直通)



# 新病院精神科病棟 部門を大公開！！

2

目次

## 地域を守る白い城

いよいよ第一期工事の新病棟が完成いたしました。津波対策での設計変更のため工期が約4ヶ月遅れとなりましたが、出来上がった白い外壁の堂々とした建物を見ると、まさにここがこの地域を守る城であるという気が致します。

第一期工事は全体計画の約3分の1の部分工事で、まずは精神科の二つの病棟がこの建物に移ります。この後に第二期の本体工事に切り掛かり、平成26年4月には新病院建物の完成となります。

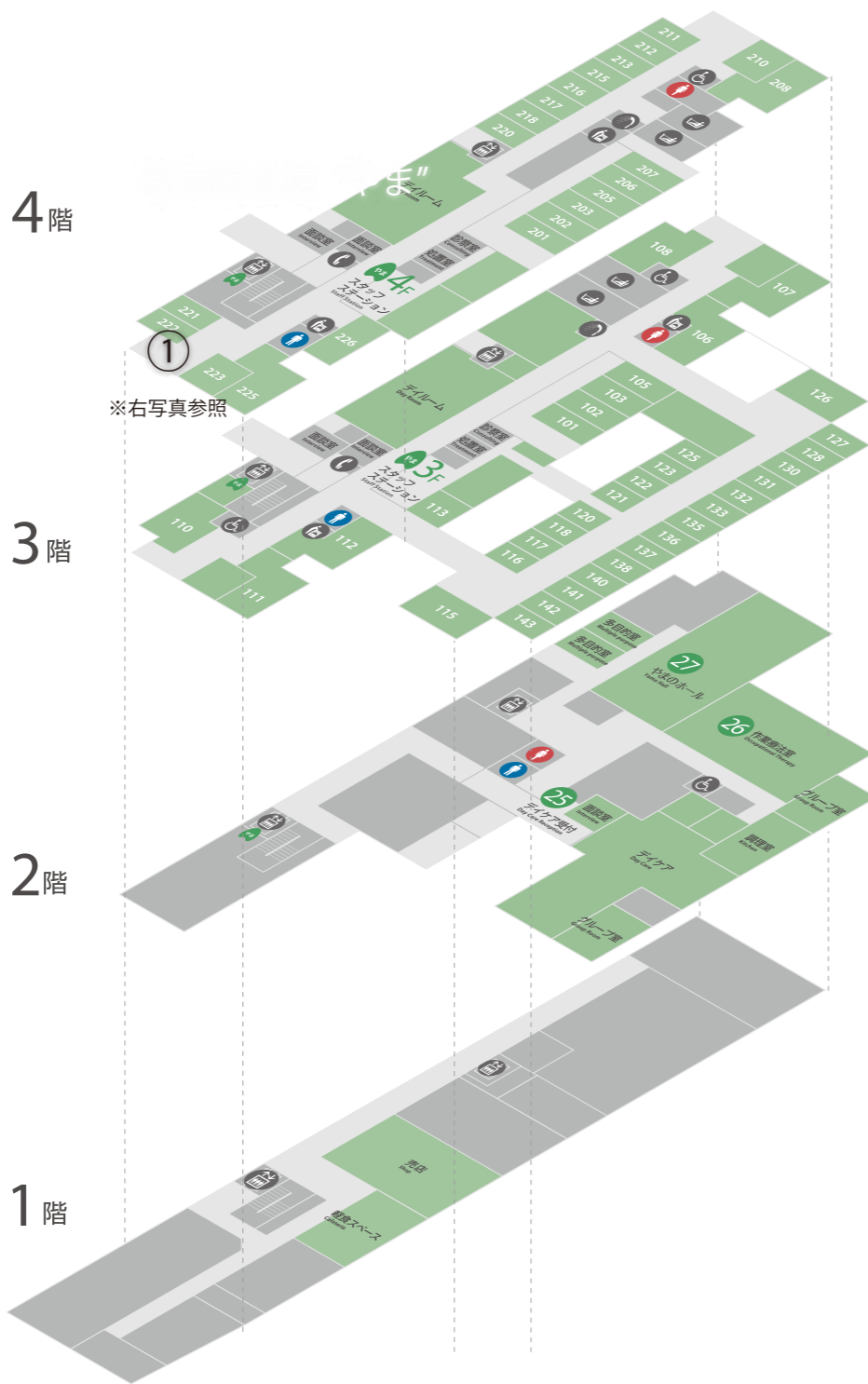
今回完成した精神科病棟は、非常に清潔感があると同時に温かみのある内装で、居住性に配慮がなされています。また2階のスペースにはデイケア室や作業療法室が完備され、さらに各種の講演会や会合に使用できる多目的ホール「やまのホール」が備えられています。万一の災害の場合にはこれら2階のスペースで災害医療を行うこととなっています。

このように新病院では日常診療とともに災害にも十分な配慮がなされています。地域の皆様からのご期待に応えるべく、病院機能の充実さにさらに取り組んで参りたいと考えております。ご支援のほどお願い申し上げます。



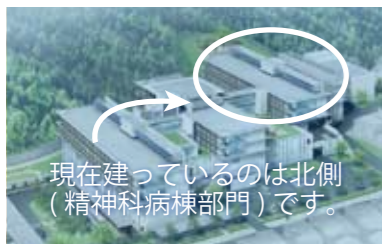
院長 まえだ ひろのり  
前田 博教

2012年より高知県立あき総合病院院長。専門は消化器一般外科・乳腺外科。日本外科学会認定医・専門医、医学博士。



- 1P 表紙
- 2-3P 祝オープン！  
新病院の大公開！！
- 4-5P 最近の精神科医療  
by 山内副院長
- 6-7P 精神科医療に携わる7  
職種の紹介
- 8-9P 秋にかけて注意を！！  
小児気管支喘息とは
- 10P 部署紹介 (OP 室)  
感染対策カンファレンスの  
報告
- 11P 管理栄養士のレシピ紹  
介 (茄子)  
編集班紹介
- 12P 外来診療一覧表

### 【建物位置】



### 【建設スケジュール】

H21	H22	H23	H24	H25	H26
基本設計	実施設計	1期建設工事	精神科オープン	2期建設工事	グランドオープン

### 【精神科の病床数 / 編成】

- ・病床数＝精神科90床
- ・編成＝精神科病棟2看護単位  
精神科作業療法  
精神科デイケア (大規模)

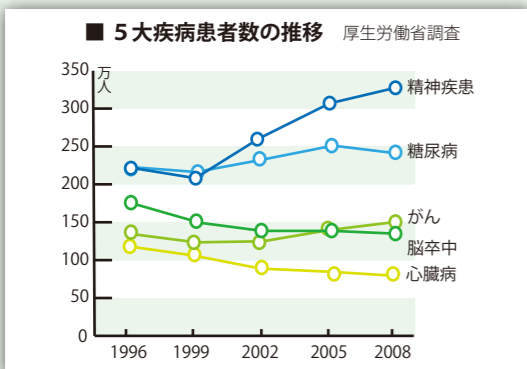
精神科  
特集②

最近の精神科医療について

副院長 山内祥豪  
やまうち しょうごう



皆さん、精神病と聞いてどんなイメージを浮かべるでしょうか。原因不明の不治の病：得体の知れない怖い病気のイメージではありませんか？平成23年、厚生労働省は、地域の医療計画に盛り込むべき病気として、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病のこれまでの4大疾病に、新たに精神疾患を加えて「5大疾病」とする方針を決めました。今や精神病は身近な病気で、地域をあげて取り組むべきとされています。



精神病は適切な時期に正しい治療をすれば、多くは治ります。精神病の治り方は糖尿病や高血圧と良く似ています。治療は**お薬が主体**です。生活習慣や環境を変えることでお薬が不要となる人もいます。どうしてもお薬の効きの良くない方が一定の割合でおられますし、治療が遅れると後遺症が残ることでしょう。生活にあまり差し障りがない程度まで治っても、お薬をやめると再発しやすいところもよく似ています。



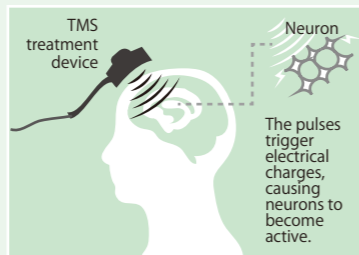
ひと昔前の精神科のお薬は、とてもつらい副作用を持つものが多く、常用するのに覚悟がいりました。でも近頃のお薬は副作用も少なく、薬に続けやすくなっています。またお薬の種類によっては、日々の飲み忘れの心配のない持続性の注射薬を使うことも選べます。近年では精神科領域においても**治療ガイドライン**が作られて広めつつあり、医師個人の技量や経験などに頼らずに、誰もが安全かつ効果が最も期待できる初期治療が受けられるようになってきています。

■ 精神科の治療ガイドライン(例)



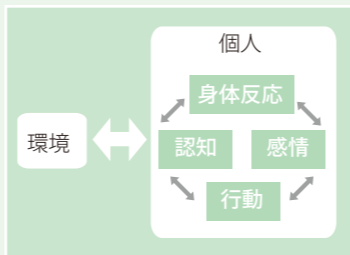
！ 下記に述べられている治療法(磁気刺激療法・認知行動療法等)は現在、当院では実施していません。ご注意ください。

■ 磁気刺激療法




○磁気刺激療法とは、電磁石に流れている電流により磁場を発生させ、磁場を受けている脳に二次電流を発生させて刺激することで、うつ病などの精神疾患の症状改善が期待されている治療法。

■ 認知行動療法の認知行動モデル



○認知行動療法とは、学習理論をはじめとする行動科学の諸理論や行動変容の諸技法を用いて、不適応な反応を軽減するとともに、適応的な反応を学習させていく治療法。

お薬以外では、**認知行動療法**、**磁気刺激療法**などが効果を上げていて、普及が待たれているところですが、...とは言うてもまず病気にかららない事が肝心です。この先、患者背景の研究がもっと進むと、精神疾患にかかりやすい人を予測できるようになることでしょう。今後、精神科医療は予防医学という面からのアプローチが、より重要視されていくと考えられます。




## 精神保健福祉士 psychiatric social worker

精神保健福祉士は、精神的な症状によって起こる、日常の困り事や問題点について相談のりながら、福祉的な視点で一緒に解決方法を考えていく専門の相談員のことです。

例えば、「医療費が支払えなくて困った」、「退院後の生活について不安がある」といった治療面以外にも出てくる様々な生活面の不安や悩みについても話を聴き、他機関・多職種と連携をとりつつ患者さん本人や家族の支援をしています。

病院で治療していくことで、1人1人の患者さんその家族の皆さんには、大なり小なり悩みであったり不安であったりが出てくると思います。そのような悩みを一人で、そして家族を抱え込まず、一緒に共有していきながら、気軽に相談できる相談室を目指しておりますので、困った時はぜひご相談ください。

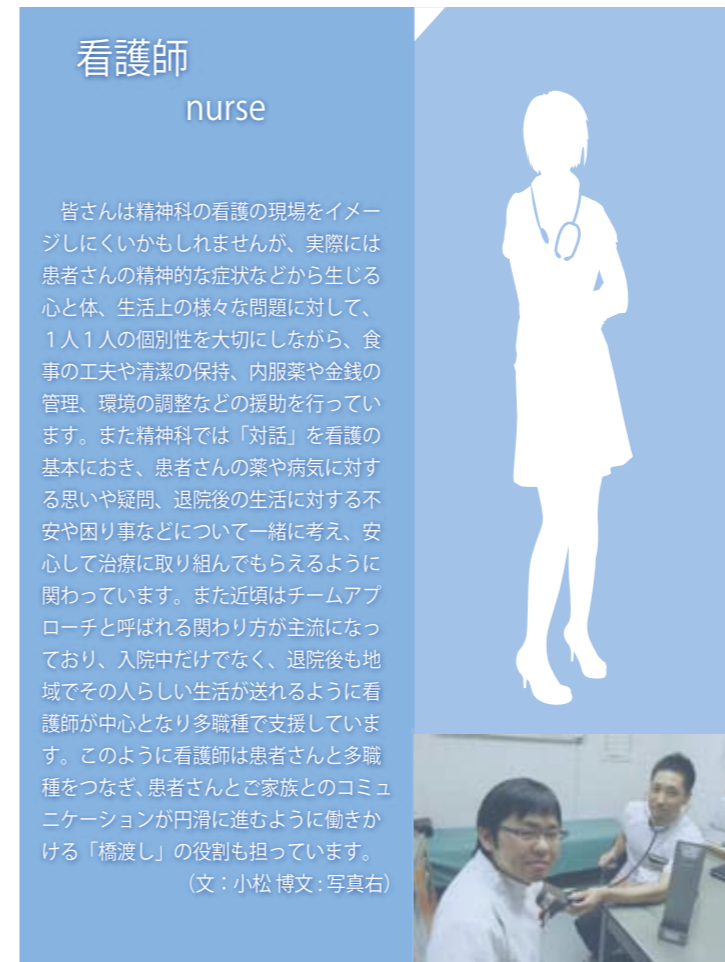
(文：笹岡 亮佑)



## 薬剤師 pharmacist

精神科医療における薬剤師業務は他の診療科の業務と大きな違いはありません。異なる点とするならば、治療を受ける患者の疾患に対する病識・認知度に差がみられることです。薬物療法が治療の基本となりますが、安全で効果的な薬物療法の実施のために副作用、相互作用、重複投与などのチェックを行う薬剤師の関与が必要となります。抗精神病薬にみられる副作用で過鎮静、自律神経症状、錐体外路症状等は、ときに患者に大きな苦痛を与え、結果として服薬が継続できない、症状の悪化・再燃などを引き起こすこととなります。患者さん自身が様々な副作用を回避し、あるいは副作用が発生した場合においても的確な対応が可能になるように、精神科における薬剤師の行う服薬指導は、繰り返し薬剤に関する情報を提供することで、薬物に関する知識の増加と不安の払拭、服薬の継続に対するモチベーションを向上させ、服薬の中断と再発予防に有効であると考えられます。

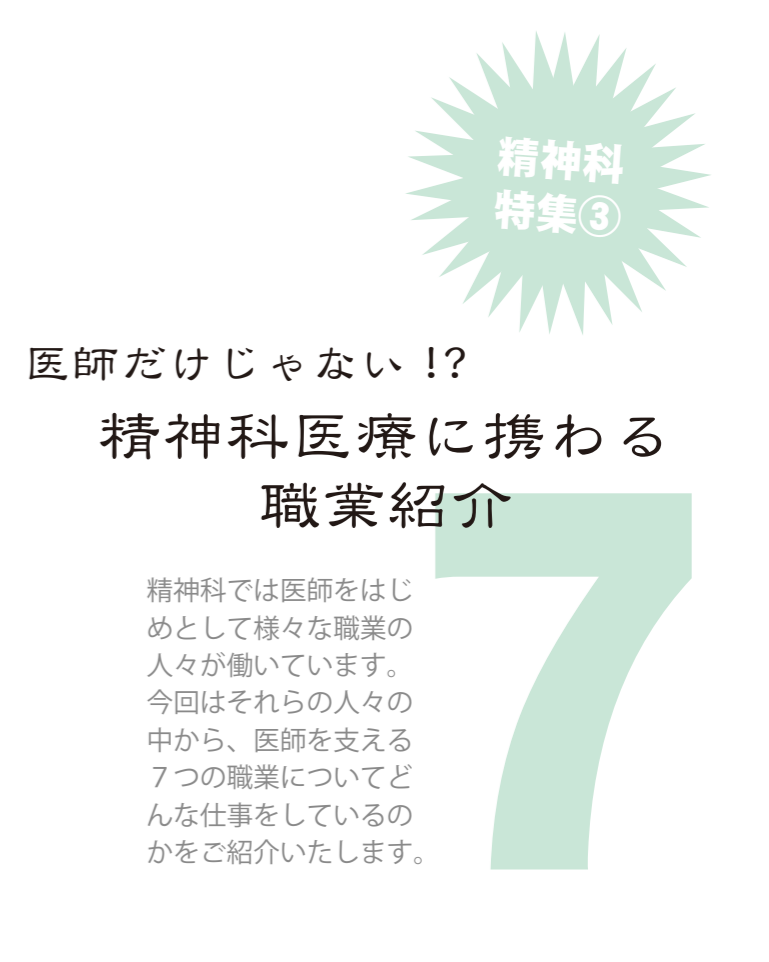
(文：岡崎 信樹)



## 看護師 nurse

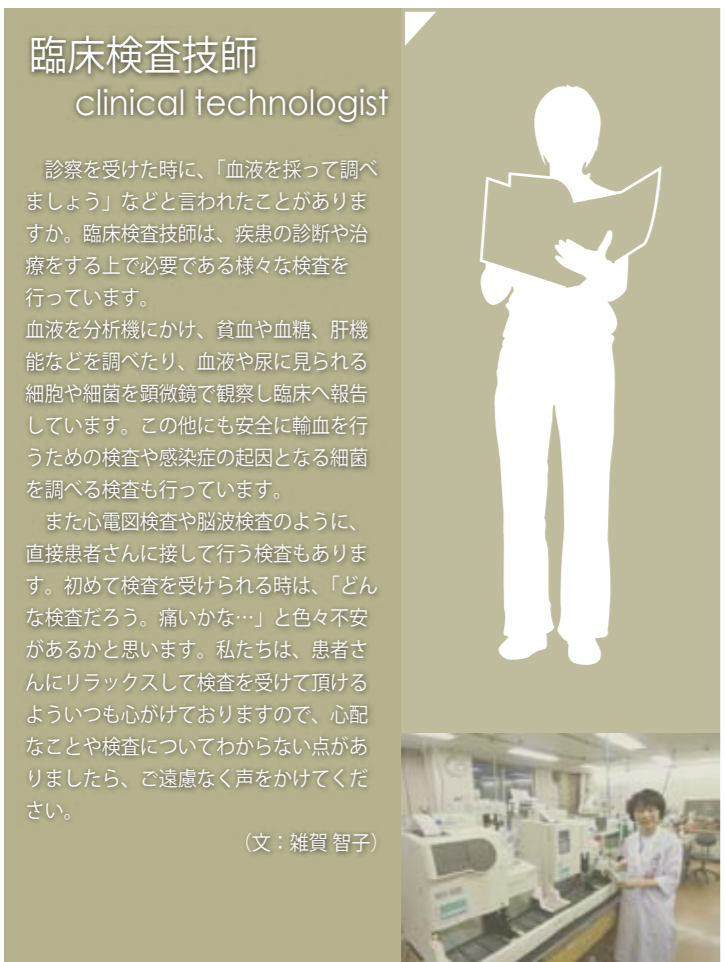
皆さんは精神科の看護の現場をイメージしにくいかもしれませんが、実際には患者さんの精神的な症状などから生じる心と体、生活上の様々な問題に対して、1人1人の個性を大切にしながら、食事の工夫や清潔の保持、内服薬や金銭の管理、環境の調整などの援助を行っています。また精神科では「対話」を看護の基本におき、患者さんの薬や病気に対する思いや疑問、退院後の生活に対する不安や困り事などについて一緒に考え、安心して治療に取り組んでもらえるように関わっています。また近頃はチームアプローチと呼ばれる関わり方が主流になっており、入院中だけでなく、退院後も地域でその人らしい生活が送れるように看護師が中心となり多職種で支援しています。このように看護師は患者さんと多職種をつなぎ、患者さんご家族とのコミュニケーションが円滑に進むように働きかける「橋渡し」の役割も担っています。

(文：小松 博文・写真右)



## 精神科医療に携わる 職業紹介

精神科では医師をはじめとして様々な職業の人々が働いています。今回はそれらの人々の中から、医師を支える7つの職業についてどんな仕事をしているのかをご紹介します。



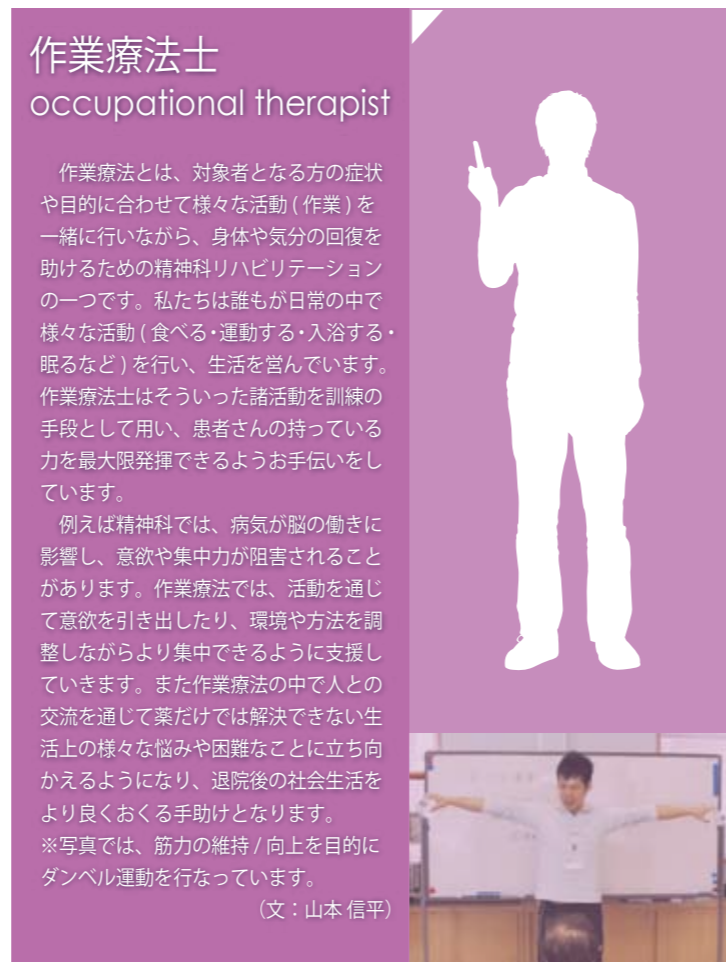
## 臨床検査技師 clinical technologist

診察を受けた時に、「血液を採って調べましょう」と言われたことがありますか。臨床検査技師は、疾患の診断や治療をする上で必要である様々な検査を行っています。

血液を分析機にかけ、貧血や血糖、肝機能などを調べたり、血液や尿に見られる細胞や細菌を顕微鏡で観察し臨床へ報告しています。この他にも安全に輸血を行うための検査や感染症の起因となる細菌を調べる検査も行っています。

また心電図検査や脳波検査のように、直接患者さんに接して行う検査もあります。初めて検査を受けられる時は、「どんな検査だろう。痛いな…」と色々不安があるかと思いますが、私たちは、患者さんにリラックスして検査を受けて頂けるよういつも心がけておりますので、心配なことや検査についてわからない点がありましたら、ご遠慮なく声をかけてください。

(文：雑賀 智子)



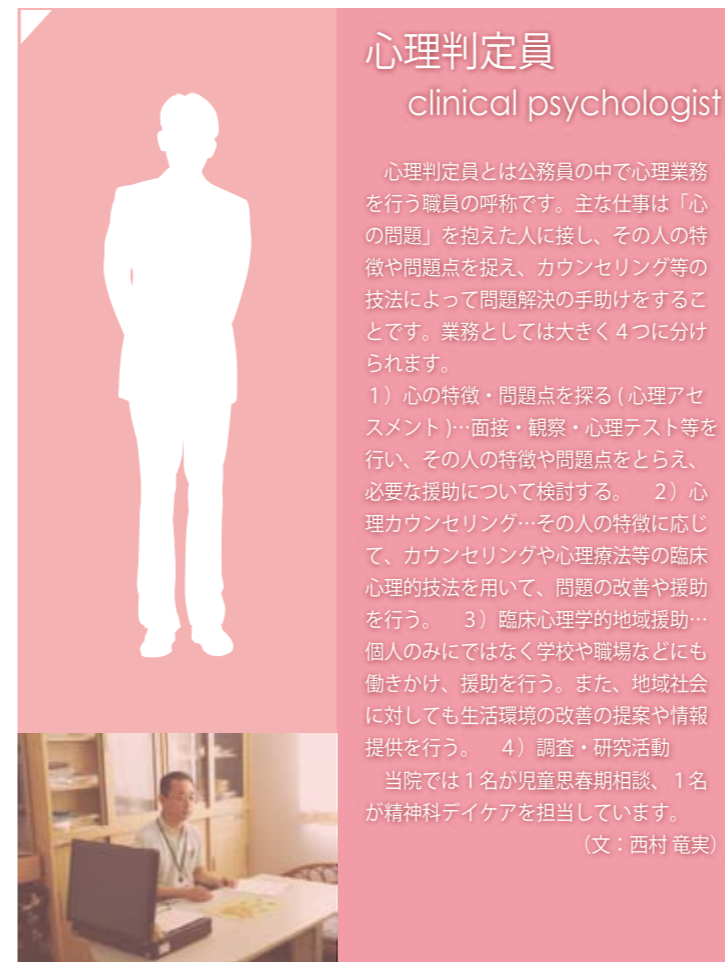
## 作業療法士 occupational therapist

作業療法とは、対象者となる方の症状や目的に合わせて様々な活動(作業)を一緒に行いながら、身体や気分の回復を助けるための精神科リハビリテーションの一つです。私たちは誰もが日常の中で様々な活動(食べる・運動する・入浴する・眠るなど)を行い、生活を営んでいます。作業療法士はそういった諸活動を訓練の手段として用い、患者さんの持っている力を最大限発揮できるようお手伝いをしています。

例えば精神科では、病気が脳の働きに影響し、意欲や集中力が阻害されることがあります。作業療法では、活動を通じて意欲を引き出したり、環境や方法を調整しながらより集中できるように支援していきます。また作業療法の中で人との交流を通じて薬だけでは解決できない生活上の様々な悩みや困難なことに立ち向かえるようになり、退院後の社会生活をより良くおくる手助けとなります。

※写真では、筋力の維持/向上を目的にダンベル運動を行なっています。

(文：山本 信平)



## 心理判定員 clinical psychologist

心理判定員とは公務員の中で心理業務を行う職員の呼称です。主な仕事は「心の問題」を抱えた人に接し、その人の特徴や問題点を捉え、カウンセリング等の技法によって問題解決の手助けをすることです。業務としては大きく4つに分けられます。

- 1) 心の特徴・問題点を探る(心理アセスメント)…面接・観察・心理テスト等を行い、その人の特徴や問題点をとらえ、必要な援助について検討する。
- 2) 心理カウンセリング…その人の特徴に応じて、カウンセリングや心理療法等の臨床心理的技法を用いて、問題の改善や援助を行う。
- 3) 臨床心理学的地域援助…個人のみではなく学校や職場などにも働きかけ、援助を行う。また、地域社会に対しても生活環境の改善の提案や情報提供を行う。
- 4) 調査・研究活動

当院では1名が児童思春期相談、1名が精神科デイケアを担当しています。

(文：西村 竜実)



## 管理栄養士 nutrition manager

栄養士の業務は、入院患者への食事提供と栄養管理になります。食事提供部門は民間の給食会社に委託していますので、献立のチェックと管理が主になります。精神科というと、よく一般科との違いを聞かれますが、「精神科だから特別なものを作っている」というわけではありません。ただ、精神科では精神疾患と身体合併症や生活習慣病の治療で、どちらを優先するかは患者の状況により変わってきます。重篤な患者は精神症状の改善が最優先になりますし、患者自身も食事どころではなかつたりします。患者が落ち着いてから医師・看護師より患者の精神状態に適した食事対応が可能か相談を受けます。これからが栄養管理の本番になります。業務で一般科との違いが大きいのは、他の職種との共同作業が多いことでしょうか。社会復帰支援のために作業療法士と協力して料理教室を行ったり、病棟と協力してバザーの出し物を作ったりします。一緒に作業をするため、普段の情報交換も気兼ねなくできるのがいいところです。

(文：高橋 俊裕)

これからの秋に注意!!

# 小児気管支喘息とは。

「ぜんそく」ってどんな病気？

## 【症状】

【引用文献】日本小児アレルギー学会監修「家族と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック2008」：P8-11：協和企画

ぜんそくは息を吐くときにヒューヒュー、ゼーゼーという笛のなるような音（喘鳴）がして、呼吸が発作的に苦しくなる病気で、息をするときに、空気の通り道（気道）が狭くなるため、音が出るのです。

次のような症状が出ると、ぜんそくが考えられます。

- ・日中は元気に遊んでいても、夜から明け方にかけて咳き込んで目が覚めてしまう。痰がからんだ咳をする。
- ・布団の上で遊んだり、ホコリを吸ったりすると咳が出て息苦しくなる。
- ・運動をすると咳き込んだり、ゼーゼーして息が苦しくなったりする。

秋は①小児気管支喘息の代表的な原因のひとつであるダニが繁殖しやすい、②急に気温が下がりやすいため発作が起こりやすい時期でもあり、実はとっても注意が必要な季節なんです！

上記のように音が聞こえて、わかりやすい発作以外にも、胸や背中に耳を当てると、ヒューヒュー、ゼーゼーという音が聞こえて、ぜんそく発作が始まっていることがわかる場合があります。

### 呼吸困難を示す他覚的所見

かんぼつ  
**陥没呼吸**

息を吸うときに  
●の部分  
へこむ呼吸。

**肩呼吸**

肩を上下させて、  
懸命に呼吸する  
状態。

きざ  
**起坐呼吸**

息苦しくて横にな  
ることができ  
ない呼吸。

## 【治療の3本柱】

【引用文献】日本小児アレルギー学会監修『家族と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック2008』：P34-36：協和企画

### 薬物療法

薬を使った体調管理を目標に

ぜんそくの薬に対するイメージは、「気道の過敏な反応」や「発作」を「抑えてくれるもの」という漠然とした捉え方をしているのではないかと思います。けれど、ぜんそく治療に使われる薬は、症状を鎮める薬（発作止め薬：リリーバー）だけではありません。症状を起こさないように体調を整える薬（長期管理薬：コントローラー）も重要な役割を担っています。

そして医師は、患者の年齢や症状、環境整備や運動療法の様子など、いくつかの点を総合的に判断して内服薬や吸入薬などを処方しています。

### 運動療法

積極的に心身の活動性を高める

ぜんそくは自律神経の働きや心理状態、心肺機能や運動とも深くかかわりがあります。ぜんそく発作を起こすことがあっても、症状が落ち着いているときに体調に合わせた運動を行い、基礎的な体力を身につけることで、発症を重症化させない、発作が起こりにくい身体を作ることができます。

運動は、朝早く起きて散歩したり、深呼吸を取り入れた体操をしたり、水泳などぜんそくの人に適しているといわれるものを実践してもよいと思います。

### 環境整備

生活環境から原因を減らす

アレルギー反応の原因（アレルゲン）となるものは人によって様々です。アレルゲンはハウスダスト・ダニなどの「吸入抗原」と呼ばれるものがあります。また、気温差や風邪など、アレルゲン以外にも症状を引き起こす誘因となるものがあり、これらは刺激因子と呼ばれています。これらの「症状を起こす引き金となるものをできるだけ避ける」ことを環境整備といえます。



### □ ダニアレルゲン回避のための室内環境調整チェックリスト

□ 家具	日光干し、加熱、乾燥、高密度繊維カバーの使用など
□ じゅうたん	使用しないことが望ましい。フローリングにする。
□ ソファ	布製のものは使用しない（革製か合成皮革にする）。
□ ぬいぐるみ	できるだけ処分し、洗濯できるものを少数のみにする。
□ 家具	数を減らす。扉をつける。上に物を置かない。
□ カーテン	洗濯できる素材のものにする。ブラインドに替える。
□ ペット	毛の生えているペット（イヌ、ネコ等）は飼わない。
□ 掃除機	フィルター付きで集塵袋が二重になっているものにする。
□ 鉢植え	室内に置かないようにする。
□ 洗濯物	室内に干さない。
□ 暖房器具	石油やガスなどの化学物質を発生させるものは使わない。
□ タバコ	受動喫煙を避ける。（保護者はタバコを止めること！）

## 【環境調整】

【引用文献】斎藤博久監修・勝沼俊雄編集「小児アレルギーシリーズ 喘息」P174-176 発行2006.11 診断と治療社

環境調整は患者やその家族ができる唯一の根治療法

小児期の喘息の原因には吸入性アレルゲン、ウイルス、受動喫煙などがあります。中でも吸入性アレルゲンのダニが最も重要な原因となっています。実際、小児気管支喘息患者の約8〜9割はダニに感作されています。これまでに、実験的なダニアレルゲン投与が臨床症状を引き起こした研究、ダニ

アレルギー回避により疾患の症状が軽減することを示した研究、喘息の有病率とダニアレルゲンに対する感作との疫学的関係を調査した研究によって、ダニアレルゲンと喘息の強い関係が数多く報告されています。よってダニなどのアレルゲンに対する環境調整は、患者やその家族ができる唯一の根治療法と言えます。

### 喘息の気管支の状態

1

**正常な気管支**

→

炎症を起こす刺激  
ダニ・カビ・食物・ウイルス・喫煙など

**慢性的な炎症状態**

→

発作を誘発する刺激  
ダニ・カビ・食物・喫煙・気候の変化など

**発作時**  
←粘膜が腫れた状態となり、気道の周りの平滑筋が収縮するので気道が狭くなる。

**気道が狭くなった状態**

# なすの和風マリネ

材料(2人分)

- ・なす …… 2本半(約250g)
- ・みょうが …… 小1本(10g)
- ・しょうが …… 6g
- ・青じそ …… 2枚(1g)
- ・サラダ油 …… 大さじ1(12g)
- ・酢 …… 大さじ1(15g)

- A
- ・薄口醤油 …… 大さじ1弱(15g)
  - ・砂糖 …… 大さじ1/2(4.5g)
  - ・かつお節 …… 1/2P(2.5g)



## 【作り方】

- ①なすは乱切りにし、水につけてアク抜きをする。みょうがとしょうがはみじん切り、青じそは千切りにする。
- ②耐熱性の容器に(A)を入れ、電子レンジ(500W)で約1分半加熱し、酢とみじん切りにしたみょうがとしょうがを加える。
- ③アク抜きをしたなすの水気を切り、サラダ油を全体にまぶして耐熱容器に広げて入れる。ふんわりとラップをして電子レンジ(500W)で約5分加熱する。
- ④③が熱いうちに②と混ぜる。粗熱をとって冷蔵庫で冷やして皿に盛り、最後に青じそをトッピングすればできあがり♪

夏の終わりにぜひ!



# 管理栄養士の四季の食卓



中島 亜理沙 Arisa Nakajima

なす&みょうが&しょうがは高知県が生産量日本一です。地産地消パワーで暑い夏を乗り切りましょう♡

## 【1人分の栄養価】

エネルギー	101 Kcal
水分	137 ml
タンパク質	2.7 g
脂質	6.2 g
糖質	3.5 g
カリウム	329 mg
塩分	1.2 g

★なす選びのコツ  
 ・皮にハリとツヤ(光沢)があり、傷などがないものが新鮮でみずみずしい。  
 ・ヘタの切り口がみずみずしく、ヘタにあるトゲがピンとしているものが新鮮。  
 ・持った時にずっしりと重みを感じるもの。軽いものは中がスカスカの可能性大。

★保存方法  
 暖かい時期に採れるなすは低温に弱く(低温障害を起こしやすい)、水分が蒸発しやすいため新聞紙からラップに包んで野菜室で保存。

★なすの豆知識  
 なすはその90%以上が水分で、汗をかく夏場には水分補給としても役立つくれます。また、昔から身体を冷やすとも言われ、夏の暑さを和らげてくれます。なすは水分ばかりで栄養がないイメージですが、なすの皮にはポリフェノール的一种である『ナスニン』という色素が含まれています。ナスニンには抗酸化作用があり、老化やがんの予防に役立つと言われています。

# 編集班紹介 part 2

03

久保 由佳 Yuka Kubo

4月より地域連携室に異動となりました。また、この広報誌の企画部会の委員長も務めています。ご意見・ご感想などございましたらお寄せください。趣味は、食べ歩き・飲み歩きです。

看護長/勤続14年目



04

高塚 智行 Tomoyuki Takatuka

病院では、心理検査と子どもの発達支援(あつぶるクリニック)を担当しています。保育園や学校に行くこともあります。趣味は、阪神タイガースの応援と食べ歩きです。毎年タイガースの優勝を夢見ているので…。うどんが好きなので、よく香川まで讃岐うどんを食べに行っています。

心理判定員/勤続11年目



# 部署紹介

002 OP 室

The Operating Room



## 対象科

- ・外科
- ・整形外科
- ・形成外科
- ・産婦人科
- ・泌尿器科
- ・眼科
- ・耳鼻科

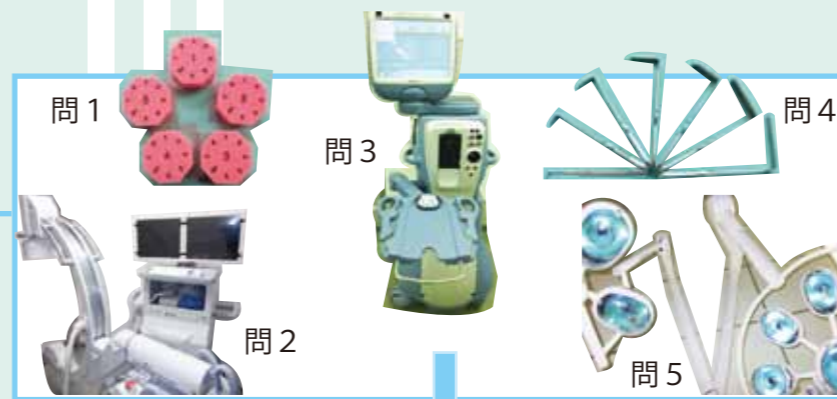


## 麻酔科応援医師



福永 賀予 Dr. 山下 幸一 Dr.

## Q. 私は手術の時にどのように役立つでしょう?



【問1の答】「針カウンター」…手術で使用した針を一本一本数えるのに使います。針を無くしたら大変! 【問2の答】これは主に骨折の手術の時にレントゲンを見ながら手術を進めるのに使います。 【問3の答】「インフィニティ」…白内障の手術の時に大活躍します。 【問4の答】「筋筒」…手術部位を見やすく拡げるために使います。小さいものから大きいものまであります。 【問5の答】「无影灯」…手術専用の照明で、影を作らないようにします。



## OP 室

■術前から術後まで、安心して手術を受けていただくことができるよう、スタッフ一同心をひとつにして努めてまいります。  
 ■手術を受けられる方ひとりひとりの関係を大切にしています。手術の前にはお部屋までお伺いしていますので、気がかりなことは何でもご相談ください。



# 感染対策

第1回

## 院内感染対策合同カンファレンス報告



当院では東部地域の各医療機関が感染制御に関する情報交換を通じて相互に支援しあうことを目的とし、「院内感染対策合同カンファレンス」を年4回行うことになりました。第1回目を5月30日に「結核患者発生時の対応について」をテーマとし二次保健医療圏の7つの医療機関と安芸福祉保健所に参加いただき実施しました。

まず、当院での結核発生時の事例の報告として入院から結核確定診断、および届け出を行うまでの経過やその間に実施した感染予防策、家族への対応について紹介しました。次に安芸福祉保健所保健師の方より「県東部における結核発生状況および発生時の対応」というテーマで結核の概要と保健所・医療機関との

連携について、具体的な情報提供をしていただき、東部地域の患者の特徵や、保健所の役割を知ることができました。

参加いただいた施設からも検査の実際について話していただき、喀痰塗抹検査を院外へ依頼していることや、検査結果の判明までに時間がかかる(即日)の検査結果が得られないといった現状が判りました。また、届け出時期について確定診断されたからが良いか、疑わしい段階で報告すべきかといった質問が挙げられました。即日検査結果が得られない場合の疑似患者についても、情報や対策の共有のために、保健所へ一報入れることが望ましいことが確認できました。

今回のカンファレンスでは、結核について各々の施設で共通した対策の必要性を再確認でき、有意義なカンファレンスを行うことができました。院内のみならず、関わる施設間で情報共有し、感染拡大防止に努めることが東部地域での感染対策に欠かせないと実感しました。

今後もカンファレンスを継続し二次保健医療圏内の院内感染対策の充実を図るよう努めてまいります。



感染管理室 看護師 川野上 理江